



EduHub

学びをつなぐ教科書ポータル

新しいことを学んだり、
学んだことを深めたり、結びつけたりしながら

子どもたちは日々、成長していく

その学びの全てが、EduHubでつながりあう

デジタル端末を起動すれば、必要な教科書をすぐに開けて、
ぴったりの教材を教えてくれる

教科をこえて、自在に学びが広がる

先生に必要な情報も、もっとスムーズにつながりあう

教育現場の未来を、豊かなものへ



EduHub

エデュハブ

学びをつなぐ教科書ポータル



推奨環境

[OS]
Windows / ChromeOS / iPadOS

[ブラウザ]
Microsoft Edge / Google Chrome / Safari

※最新バージョンのOS・ブラウザでの利用を推奨いたします。

諸費用

[利用料金]
主要機能は無償で
ご利用いただけます。

※今後追加される機能については、費用が発生する場合がございます。

※基本的に導入は、各自治体・学校で可能です。

EduHubホームページ

<https://eduh.jp/>



TOPPAN 株式会社



教材やサービスの多様化による課題を見据え、
EduHubの構築や、教育DXに関わる提言活動を行います。



<https://kodomoedu.or.jp/>

こどもの学びを支える教科書ポータル

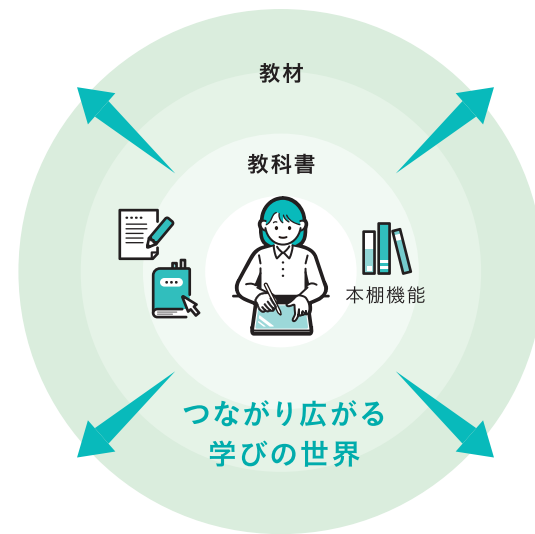
授業の中心にあるのは「教科書」

こどもたちの学びを考えると、常に授業の中心にあったのは“教科書”です。海外と比較しても、日本の教科書ほど児童生徒に寄り添い、改善・発展を続けている教材はありません。これまでもこの先も日本の教育を支え、授業設計の中心に据え置かれるものは“教科書”なのです。



今こそデジタル教科書を起点とした教科書ポータルを

EduHubは、日本の教育現場の声を取りこぼさず、児童生徒、教職員らの課題を解決に導く、デジタル教科書を起点として学びの可能性を広げていく新たな教科書ポータルです。

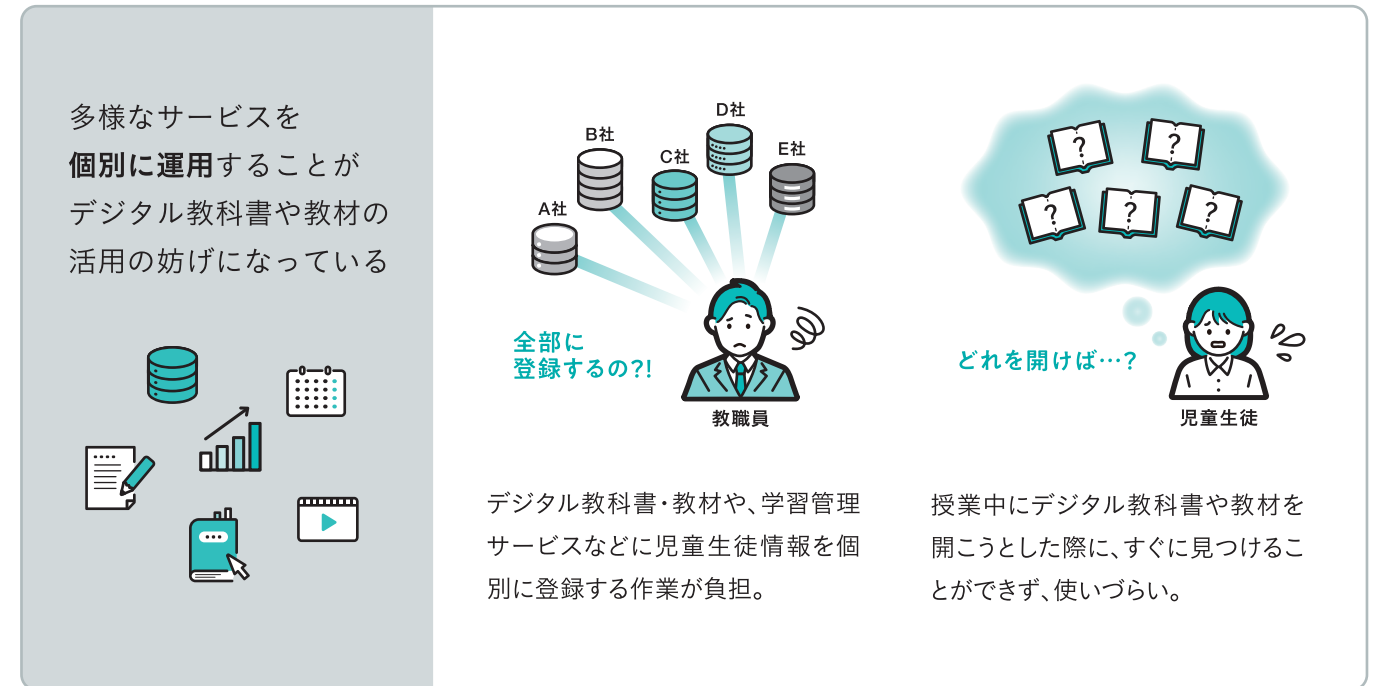


未来の学びを支える基盤が必要とされています

こども一人ひとりに寄り添った最適な学びや、協働性を育む学びの提供を実現するために導入が進む「教育DX」。しかしながら、教育の現場ではその導入を巡って多くの課題を抱えているのが現状です。2024年度から英語の学習者用デジタル教科書が全校へ導入された今、教育現場の課題を解決し、「教育DX」を加速できる基盤の必要性が急速に高まっています。



教育現場が抱えている課題



EduHubを導入することで様々な課題を解決



EduHubの主要機能・サービス

教職員、児童生徒の負担を増やさないことはもちろん、さらに充実した学びの場を実現します。



学びの場を創り出す「**教職員**」のための機能



学びの主役である「**児童生徒**」のための機能

登録支援機能

教育DXを阻む壁 「教職員の業務負荷」を軽減

校務支援システムに登録した児童生徒情報をEduHubに読み込むことで、教科書・教材の利用開始に必要なIDを発行可能。これまで教科書発行者・教材会社ごとに何度も繰り返していたユーザー登録作業を“1回”に集約できます。「教育DX」を阻害する主要因であった教職員の業務負荷を軽減します。



学びに関する情報の提供

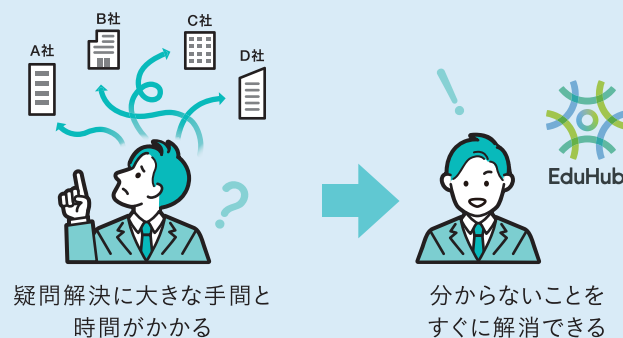
授業素材の充実

子どもたちの興味を広げ、より深い学びのきっかけとなる「学習動画」や「学びに関するニュース」など、充実した授業のための素材を発信します。



問い合わせ窓口の一本化

問い合わせ内容に応じた適切な窓口を探す手間がかからないよう、EduHub上のサービスに関する問い合わせ窓口を1つに集約。疑問が生じたらすぐに疑問を解消できるので、安心して導入できます。



本棚機能

児童生徒画面



教職員画面



すべての教科書・教材がこの画面から開けるように

これまでは教科書を開く際に、教科書ごとに異なるアプリを開いて、それぞれにログインするという手間がかかっていました。EduHubがあれば、すべてのデジタル教科書・教材が一覧表示されるので、迷わずすぐに目的の教科書を開くことができます。

※EduHub 対応教科書・教材のみ。詳細はこちらをご確認ください。



EduHubが描く未来

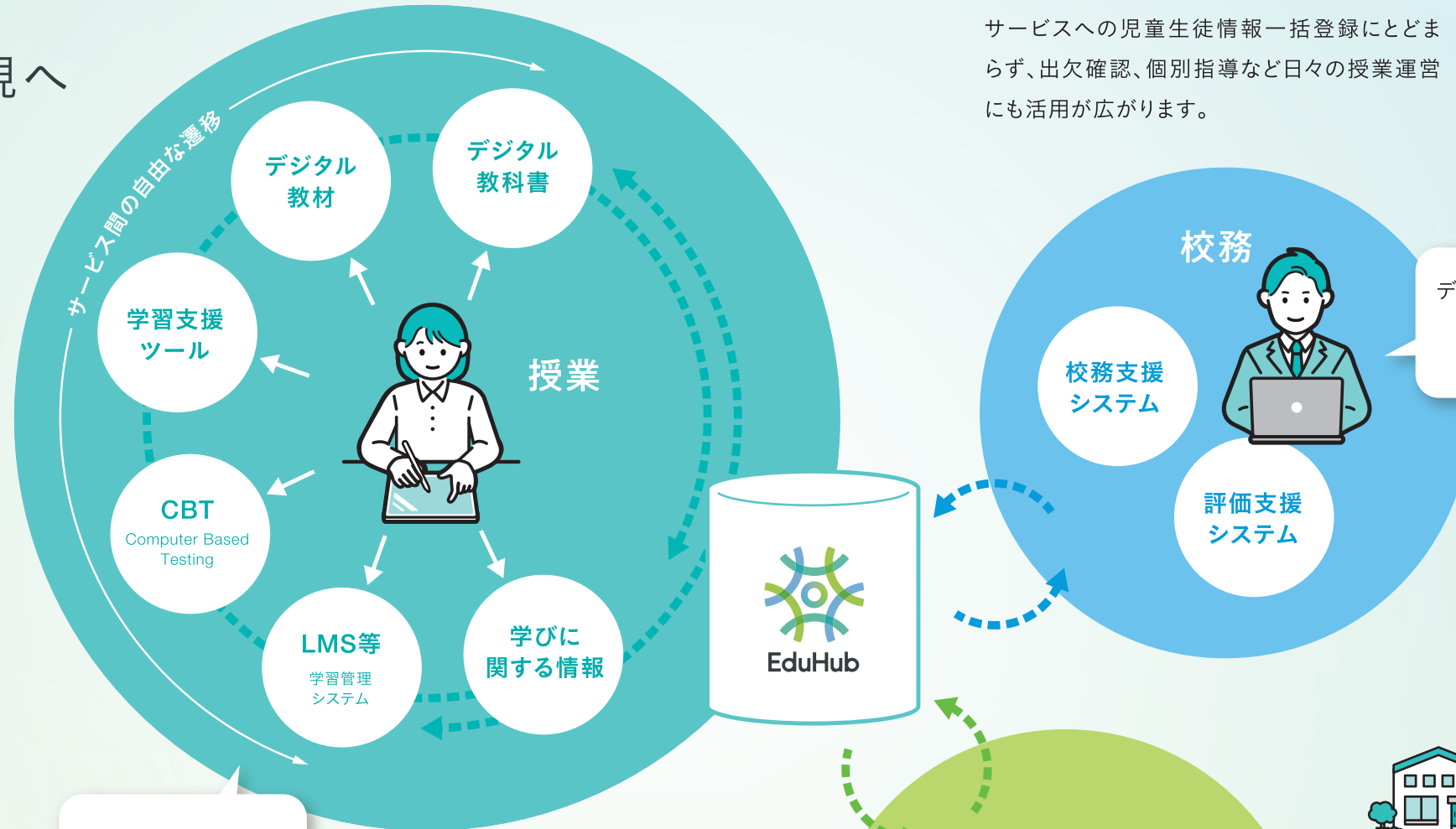
教育に関するサービスをつなぎ
 こどもを中心とした
 理想の学習環境の実現へ

学びをつなぐ (児童生徒)

さまざまな教科書・教材が1つにつながることで、サービス併用による煩雑さを解消するだけでなく、教科の枠を超え様々なコンテンツをつなぎ合わせた全く新しい学習体験を提供。分野横断的な学び、探究的な学びに、デジタルならではの利点を活かして応えていきます。



壁を意識させない
 シームレスな
 学習体験



業務をつなぐ (教職員)

校務系システムと学習系システムが情報連携することによって、校務と授業運営と2面に分かれていた教職員の業務が一体化。各種学習サービスへの児童生徒情報一括登録にとどまらず、出欠確認、個別指導など日々の授業運営にも活用が広がります。



データの一元管理に基づく、
 授業へのIT導入・
 校務の負担軽減

社会とつなぐ

教科書・教材のみならず、学習内容を深め・広げるサービスを提供し、こどもたちの主体的な学びにつなげていきます。



データを起点とした、
 学校外との連携による
 サービス拡充